



カンボジア便り

幼稚園の近況

幼稚園の生徒数は少し増えて、最新情報では毎日通ってくる子供は17名になりました。幼稚園の責任者でもあるルセイサン小学校の校長先生が各家庭を訪問し、子供を幼稚園にやらない理由について面談をしています。当会のカンボジアの窓口リテイ氏は、この結果を待ち、園児増加について何が出来るかを校長先生と相談する予定です。

～目次～

カンボジアだより	
幼稚園の近況	1
幼稚園の授業内容	
ハングル語って何語？	2
ビビンの会よ、ありがとう	3
スタッフ紹介	
事務連絡	4

幼稚園の授業内容

子どもたちは、読み・書き・計算の他に、礼儀作法も教わります。

カンボジアでは、挨拶の時握手ではなく、両手を合わせ相手の目を見て「チョムリアップ・スーオ」（こんにちは）と言います。その時相手がどんな人かによって手の合わせ方が変わります。

この絵はこれを教えるもので、左から①同じ身分（同年代、同世代）②年上の友達に③目上の人に④両親⑤王様と書いてあります。



ポルポトによって破壊されたと思われた、目上の人・両親を敬うという文化が残っているのを見て、何かホッとします。

こちらは曜日と色を教わるためのものです。

左から日曜日・・・土曜日と書いてあり、7人の女の子が違う色の着物を着ています。

色の名前も書いてあるので、曜日と色の言葉と文字を一緒に覚えられるというやり方になっています。

(大澤)



(クメール語翻訳・アジア文化会館中林さん)

みなさんは『ハンゲル語』という言葉を目にしたことがありますか？最近割りとよく使われるようになってきていますが、実は、『ハンゲル語』とはこの世に存在しない言語です。『なに？韓流ドラマでばりばり喋ってるじゃないの？』と言う方がいるかもしれません。そうです、あります。しかし、それは韓国語または朝鮮語という言葉です。『ハンゲル』というのは、韓国語または朝鮮語で使う表音文字のことで、英語のアルファベット、日本語のひらがな・かたかなに該当するものです。英語のことを『アルファベット語』とは言わないように、『ハンゲル語』というのは、本来なら意味を成さない、ものすごく不思議な言い方なのです。ではどうして『ハンゲル語』という言葉が流通するようになったのでしょうか。私の推測ですが、NHK 韓国語講座が、『アンニョンハセヨ ハンゲル講座』というタイトルで放送されてからだと思われまふ。ご存知だと思いますが、朝鮮半島は、北は朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)、南は大韓民国(韓国)と2つの国に分断されています。北でも南でも、少々癖が違うだけの同じ言語を使っていますが、それぞれ朝鮮語、韓国語と違う呼び方をします。当然日本に滞在している人も、北ゆかりの人、南ゆかりの人の両方居ます。よって韓国語と朝鮮語のどちらかを取ってしまうと、疎外される人が居て、疎外された側から不満の声が上がります。『ハンゲル講座』というのは、どちらかを疎外しないようにと、製作陣が取った苦肉の策なのです。私はボランティアで韓国語を教えていて、何人もの生徒さんに『どうして日本では、ハンゲル語という言葉で韓国語・朝鮮語を指すのでしょうか？』という質問を投げかけましたが、満足な答えは得られませんでした。生徒さんたちにとって、朝鮮半島の言語と朝鮮半島の分断という一般常識は、まったく結びつけられない別箇の事実のようでした。

韓国では 1998 年金大中政権下で日本の大衆文化が解禁となったのをきっかけに、日本のポップカルチャーは若者を中心に広がりを見せています。一方、時間差はあるものの、日本では 2002 年『冬のソナタ』が大ヒットし、韓流はブームとなり今では日本で市民権を得ているように見受けられます。隣の国の再発見とでも言いましょうか。日韓両国では、互いのことをもっと知りたい、(あの歌手が、俳優が、ドラマが、映画が)大好き、言語を習いたい、という人が増えています。私は韓国で日本語講師を一年やっていて、また、わたし自身中学生の頃(まさに解禁前)から日本の某歌手が好きで好きで、はまったという個人的な経験からして、日本が好きな韓国人と韓国が好きな日本人を数多く見てきましたが、面白いことに2つのグループの間にかかなりの温度差があります。初めに上げた『ハンゲル語』という言葉一つを取ってもそうだし、韓国語をある程度学習した人でさえ、韓国語と日本語がとても似ているということは知っていても、なぜ似ているんでしょうと聞いたところで、理由を考えてみたことはないと言うのです。韓国が好きという日本人はたいてい韓流が好きで、ミョンドンでの買い物を楽しんで、東方神起の CD を買って、韓国焼酎を飲んで、ハンゲル語を習いはじめ。しかし、そういう人が見ているのは、果して大昔から日本のお隣に存在し続けてきた韓国なんでしょうか？いや、絶対どこかで断絶が起きています。おそらくその断絶の切れ目には、『日韓合併』があつて、経済格差があつて、日本における韓国のイメージは長い間日本より劣等なもの、そんな劣等な韓国から大昔であっても文化的に大きな影響を受けたなど言語道断とでも言いましょうか？韓流(現代の韓国イメージ)は流行ってるし、まあまあカッコいいところもあるけど、昔からの韓国のことにはあまり興味がないようです。確かに母国のことを好き、と言われるのは悪い気はしませんが、それがあつた断絶されたイメージだけだとすると、すこし気になります。だって、一時期アジア全域で香港映画がブームになりましたが、今はあまり流行らないでしょう？一時的に消費されて終わり、はあまり嬉しくないし、せつかくだからもっと深入りしてみない？と誘いたくなります。今回は韓国が好きな日本人の話をしました。次回は日本が好きな韓国人について書きたいと思ひます。

Life is the Chance!!

ビビンの会・ボランティアスタッフ 小森 新

東京の文京区千石。細い通り沿いに、アジア文化会館はある。ビビンの会はこの会館の一室を使って開催される。決して大きいとは言えないその一室に、今回も70名近くもの人に集まって頂いた。国籍(日本・韓国他)、年齢、性別、職業、例によって実に様々である。

ビビンの会の『ビビン』とは、ご承知の人も多いであろうが韓国語で『交ぜる』という意味である。ビビンの会を韓国料理の『ビビンパ』に例えてみよう。アジア文化会館は器で、お客さんはご飯、スタッフがスプーンで、具はプログラムやお酒と言ったところだろうか。スプーンはご飯を上手に交ぜてくれる、そして具はご飯をより一層美味しくしてくれる存在である。しかし月並みではあるが、何よりたくさんのご飯が無ければ『ビビンパ』は存在しえないのである。今回もそのたくさんのお客さんのお陰で、会は盛大に終了した。そこにはたくさんのお客さんの思いや出会い、笑顔があったであろう。それはゲストであるお客さん無しには決して考えられないことである。

様々な人と出会う Chance、話す Chance、笑い合う Chance。やはりそれはいつの時代でも素晴らしい。仲良くすることには理由なんていない。言葉や国籍を超越したモノを、とくと感じる事ができた会であった。そんな会に参画できたことは、私にとって大変な喜びである。そしてご参加頂いたお客さんや、会に携わって頂いた全員に心から感謝を申し上げたい。そしてビビンの会よ、ありがとう！！

スタッフ紹介

会社員 黄 禧福 (ファン ヒボク)

突然ですが、僕が NPO 法人日韓アジア基金 (以下、ILAF) のスタッフになった動機は本当にささやかなもので、昨夏 ILAF が主催する日韓交流会の「ビビンの会」に参加したことがきっかけです。僕はそこで知り合った ILAF のスタッフの皆さんと友達となり、「インターナショナル秋祭り」というのにも参加したのです。とても賑やかでエキゾチックな雰囲気漂う楽しげなお祭りというのが、僕のインターナショナル秋祭りへの印象でした。そして、ふと気がつけば、僕はいつの間にかスタッフと一緒にお客さんの接待をしていました。

小さな出来事ですが、いつもはアウトサイダー気取りの僕にとって、それは皆と一緒に何かを‘やっていく’という「楽しさ」に目覚めた瞬間でもありました。皆が頑張った甲斐あって、僕らが用意した韓国お茶サービスは祭りが終わるだいぶ前に品切れとなる大盛況ぶりでした(笑)。やがて祭りが終わりその後の反省会で、僕はスタッフの皆さんから、たくさんのお客さんの感謝の言葉を頂き、ちっぽけな自分の力でも、世の中の誰かに必要とされるかもしれないという一種の「可能性」を感じました。それは「達成感」かも、ただ単に「楽しかった」だけのことかもしれません。しかしそれが、僕の ILAF 加入の最も大きな理由だったのです。

ここまでの僕の ILAF 加入動機ですが…、恥ずかしいことに、僕は ILAF の本来の取り組みの‘カンボジアの児童への識字教育’に関してほとんど門外漢です。これからは、そういった本来の取り組みに積極的に参加して行けたらいいなと思う次第です。こんな僕のことですが、スタッフの方々や僕らのことを応援してくださっているドナーの方々の皆さん、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

9月19日(土) NPO法人 日韓アジア基金・日本 年次総会を開催します
合わせて第10回ビビンの会も開催します

詳細は同封の開催通知をご覧ください。

当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略)
ご協力ありがとうございました。次回も宜しくお願いします。

4月26日 ニュースレター29号発送作業

明石 将・池羽 太一・岩井 あゆみ・岩本 慶子・小森 新・千葉 まゆみ・前田 芳孝・メイ クー・本宮 慎吾・
劉 美鏡・吉田 結衣・李 文凱

6月20日 第8回ビビンの会

池羽 太一・キムジユン・小森 新・鈴木 崇規・平岡 雅史・前田 芳孝・横田 麻未

09年4月9日～7月8日に会費・ご寄付を下さった方 敬称略・欄外を除き五十音順

油谷 友加	奥村 宗之	神田 幸子	鋤柄 慎吾	中島 智代	樋口 督水	松田 明美	吉永 弘子
荒川 晶子	加来 明子	栗田 瑞枝	瀧口 利章	中村 節子	平島 清行	松本 博一	吉村 悦子
植原 光子	金澤 潤子	合田 稔	田野辺 隆男	並木 陽子	藤井 幸子	村松 悦子	米田 容子
内尾 亜津子	金子 十三松	桜井 靖子	塚本 美和子	波多野 淑子	藤井 昌子	矢崎 芽生	若宮 康夫
王 嶺	唐澤 一登	柴田 義之	津布 久元子	樋口 晴太郎	前田 了子	山崎 杜子	

ボランティア 野菊の会 匿名(定額給付金) 松本 博一・操

ニュースレターの封筒の「中越運送」ゴム印について

ニュースレター送付の封筒右下に「中越運送」のゴム印が押ししてあります。

ある支援者の方から、世上評判の「障害者用団体優遇措置の悪用」と紛らわしいとのご指摘を頂いたので、押印の理由をご説明します。

これは、大量発送をすると郵便料金が大幅値下げになるという料金制度を利用するものです。中越運送全体の発送量に当会のものを合算出来るため、23区内60円、その他70円で送れます。郵便なら120円、クロネコメール便でも80円ですので、クロネコに比べても年間で1万2千円の節減になり、違法性も全くないというありがたい仕組みです。

ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)
法人会員:年会費 1口10万円
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便振替口座>
口座番号 00180-2-25153
口座名 日韓アジア基金

- ・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権がございます。
- ・賛助会員:定期的にご支援頂ける方。

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

<お問合せ先>

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内
Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)
E-メール: jkaf@ml.infoseek.co.jp HP: iloveasiafund.com/japan/
発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也